

分野	科目名	配当年次	開講期	
専門分野	治療を助ける援助技術演習	2年次	後期	
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1単位 (15時間)	12時間	石丸 綾佳	有	
	4時間	滝川市立病院 看護師	有	
<b>授業の概要</b>	前期で学習した知識を改めて想起し、患者にとって安楽な技術の実践ができるようになることを目指す。事例を用いたシミュレーション演習を通して、より実践に近い形で技術が修得できるようにする。協同学習と臨床指導者との演習を通して、技術の修得と上達を目指す。			
<b>到達目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 治療を助ける技術を実践するために必要な知識を整理し、再確認できる。</li> <li>2. 安全な技術の実践ができるように、技の修得に努めることができる。</li> <li>3. 患者の不安に配慮しながら実践することができる。</li> <li>4. 協同学習を行い、互いに学びが深まるように学習することができる。</li> </ol>			
<b>授業計画</b>	No.	<b>授業内容</b>	<b>授業方法</b>	<b>備考</b>
	1 2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各技術の手順・留意点を思い出そう <ul style="list-style-type: none"> <li>・皮下注射</li> <li>・筋肉注射</li> <li>・点滴静脈注射（留置針）</li> <li>・輸血の準備と実施</li> <li>・口腔・鼻腔吸引、気管内吸引</li> </ul> </li> <li>2. 事例の紹介と演習方法の説明</li> </ol>	GW	
	3 4	それぞれの技術について、グループ毎に演習 患者の不安や苦痛に配慮した方法を考える	GW 演習	
	5 6	安全安楽な技術の方法、観察の視点、患者への配慮を学ぶ (臨床指導者と共に演習)	GW 演習	
	7 8	シミュレーションによる技術評価（各グループ）	演習	
	<b>評価</b>	技術評価		
	<b>参考文献</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 任和子：系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 第18版, 医学書院, 2021</li> <li>2) 任和子：根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 第2版, 医学書院, 2018</li> <li>3) 看護がみえる 基礎看護技術① 第2版, メディックメディア</li> <li>4) 看護がみえる 基礎看護技術② 第2版, メディックメディア</li> </ol>		
<b>備考</b>	<p>授業内容を参考に、各技術の手順や留意点を学習するために必要な教科書、授業プリントなどを準備して授業に臨むこと。</p> <p>最後の技術評価の実施方法に関しては講義内で詳しく説明する。</p> <p>各グループ協同し、練習すること。</p>			